

ファンドの概要

ファンド設立日	2020年2月26日
組合員構成	(株)伊予銀行、民間都市開発推進機構
ファンドの所在地	愛媛県松山市
ファンドの資金規模	200百万円 (株)伊予銀行100百万円、機構100百万円)
ファンドの形態	有限責任事業組合(LLP)
ファンドの存続期間	2040年1月末日まで

地域の課題

大洲市内には観光客向けの魅力的な宿泊施設が少ないことから、市内に宿泊する観光客は日帰り客に比べ圧倒的に少なく、旅行者による需要及び消費の獲得が限定的です。

主に肱南地区・新谷地区においては人口減少、所有者の高齢化や相続等により、古民家等が空き家となって老朽化したり、維持管理ができずに取り壊されて更地化するケースが増え、観光都市としてのまちの魅力が失われつつあります。

肱北地区においてはJR伊予大洲駅から肱南地区への歩行動線の魅力を向上し誘客機能の強化を図ることが求められています。

投資対象エリア

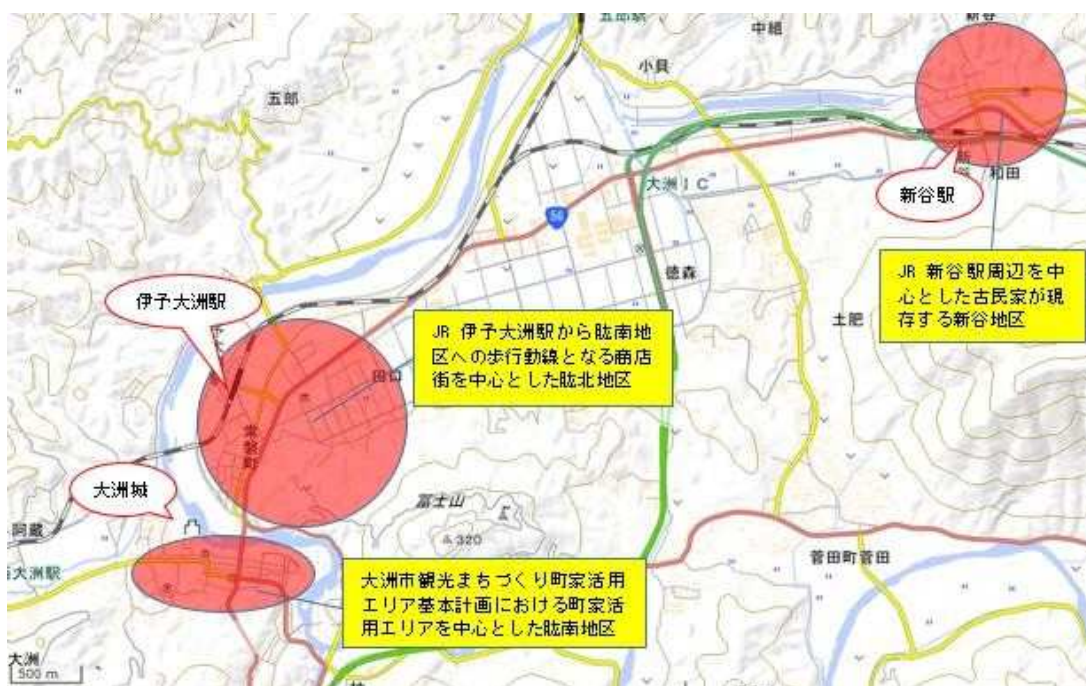
本ファンドは、上記の課題を踏まえ、次のエリアにおいて実施される民間まちづくり事業に投資します。

- ①大洲市観光まちづくり町家活用エリア基本計画における町家活用エリアを中心とした肱南地区及びその周辺
- ②JR伊予大洲駅から肱南地区への歩行動線となる商店街を中心とした肱北地区及びその周辺
- ③JR新谷駅周辺を中心とした古民家が現存する新谷地区及びその周辺

投資対象事業の考え方

上記の対象エリアにおいて、町家、古民家、空き家、空き店舗等をリノベーション等により活用し、宿泊施設、飲食施設、物販施設等を整備・運営することで地域の課題解決に資する事業を投資対象とします。

投資対象エリア (イメージ)



出典：地理院タイル(標準地図)に投資対象エリア・ランドマークを追記して掲載

投資事例1



施設名：NIPPONIA HOTEL 大洲 城下町
所在地：愛媛県大洲市大洲
投資先：株式会社 KITA
投資日：2020年7月15日
形態：社債の引受

* 城下町に点在する歴史的な邸宅をリノベーションし、分散型古民家ホテルとして運営